

その名は

イザヤ9・1-7

一、キリストを指す預言

1節を() 覧ください。へしかし、苦しみがあったところに闇がなくなる。先にはゼブルンの地と ナフタリの地は辱めを受けたが、後には海沿いの道ヨルダンの川向こう、異邦の民のガリラヤは榮譽を受ける。() とあります。イザヤが預言活動を行った時代、アッシリア帝国は北王国イスラエルを徐々に追い詰めて行きました。へ先にはゼブルンの地と ナフタリの地は辱めを受けたが() とは、アッシリア帝国のティグ

ラト・ヒレセルによって占領された出来事を指しています。ですがイザヤは、占領された地の回復を預言しました。へ後には海沿いの道、ヨルダンの川向こう、異邦の民のガリラヤは榮譽を受ける。() がそうです。さらにイザヤは、預言のことばを続けます。2節です。へ闇の中を歩んでいた民は 大きな光を見る。死の陰の地に住んでいた者たちの上に 光が輝く。() と。

イザヤが語った預言は、イスラエルの回復でした。ですが現実の歴史において、そのようなことは起こりませんでした。では、預言ははずれたのでしょうか。そんなことはありません。主イエ

ス・キリストにおいて実現しました。ご存じのようにマタイの福音書は、イザヤ書を取り上げて、次のように語っています。へマタイ4・12-17() 主イエス・キリストが神によって遣わされ、活動されたことが、闇に輝く光となりました。マタイがそのように理解したことが分かります。

二、イザヤのキリスト預言

3節は、2節と同様、1節の展開です。4節、5節、6節は、原文ではそれぞれ冒頭に「なぜなら(キー)」ということばがあります。すなわち、1節から3節で語られたことの理由を述べていることとなります。理由の1は、4節です。へあなたが、彼が負うくびきと 肩の杖、彼を追い立てる者のむちを、ミニティアンの日になされたように 打ち砕かれるからだ。() とあります。へ彼() とは、イスラエルです。理由の2は、5節です。へまことに、戦場で履いたすべての履き物、血にまみれた衣服は焼かれて、火の餌食となる。() とあります。事を行われるのは、神御自身です。理由の3は、6節です。へひとりのみどりごが私たちがのために生まれる。ひとりの男の子が私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。() へひとりのみどりごが私たちのために生まれる() ことが、イスラエルが回

復するために、主がなさることであり、しるしであるという預言です。多くの注解書がこの箇所を、イスラエルの王の即位を指していると解説しています(詩篇2・7を参照)。ですがこの預言は、一般的な意味で「ひとりのみどりごが私たちのために生まれる」と受け止めた方が良いと思われれます。主イエスが公生涯に入り、バプテスマのヨハネからバプテスマを受けた時、「これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ」(マタイ3・17)と語られて、王になつたのではありません。マタイの福音書は、主イエスが生まれた時から王であつたと記しています(マタイ2・1-2を参照)。

三、その名は

6節4行目、5行目を見てまいります。へその名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。() とあります。イザヤはキリストを指して、「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と語りました。では、イザヤが語ったイエス・キリストの御姿とはどのようなものだったのでしょうか。第一は「不思議な助言者」へ驚くべき指導者、フランシスコ会訳は「驚くべき助言者」です。口語訳は「霊妙なる議士」で、前半の「霊妙な」には「尊く不思議なこと。人知でははか

り知ることのできないほどすぐれていること(広辞苑)」の意味があるので、ぴったりかと思えます。問題は、今の時代「霊妙な」ということばがあまり使われていないことです。第二は「力ある神」でした。神の弱さは人よりも強いですから、神が少しでも力を発揮されたら、それは恐ろしいほどのパワーです。第三は「永遠の父」でした。父は、すべてのものの源であり、究極の支配者です。第四は「平和の君」でした。平和とは、造られたものが、それぞれにふさわしい状態にあるときに生まれます。

この四つの名は、主イエス・キリストに当てはまります。主イエス・キリストこそ、「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれるお方です。神の預言は、時が来れば実現します。なぜなら万軍の主の熱心がこれを成し遂げるからです。そのことが7節で語られています。へその主権は増し加わり、その平和は限りなく、ダビデの王座に就いて、その王国を治め、さばきと正義によってこれを堅く立て、これを支える。今よりとこしえまで。万軍の主の熱心がこれを成し遂げる。() と。

きょうは、イザヤの預言から、主イエス・キリストがどのような方であるかを探ってみました。不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君なるお方こそ、神であり、主イエス・キリストであり、私たちと共におられる聖霊です。